

## 県産米の振興と人権に関するアンケート 実施報告

県産米の振興と人権に関するアンケートの実施結果をご報告いたします。  
アンケートにご協力いただきました皆さまに、厚くお礼を申し上げます。

### アンケート概要

- 1 実施期間 平成 28 年 10 月 17 日（月）～11 月 2 日（水）
- 2 対象者数 1,362 人
- 3 回答数 880 人
- 4 回答率 64.6%
- 5 回答者属性

#### 【性別】

	男 性	女 性
回答者数	440	440
構 成 比	50.0%	50.0%

#### 【年齢階層別】

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
回答者数	60	188	221	189	175	47
構 成 比	6.8%	21.4%	25.1%	21.5%	19.9%	5.3%

#### 【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	434	229	110	77	30
構 成 比	49.3%	26.0%	12.5%	8.8%	3.4%

北勢…………… 四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢……… 津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩… 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

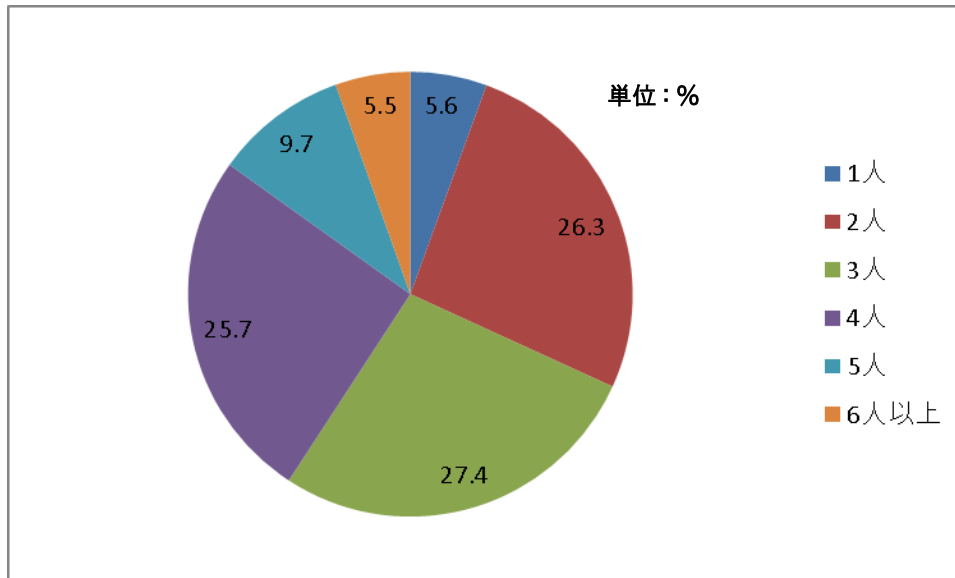
伊賀…………… 名張市、伊賀市

東紀州……… 尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

## アンケート結果の概要

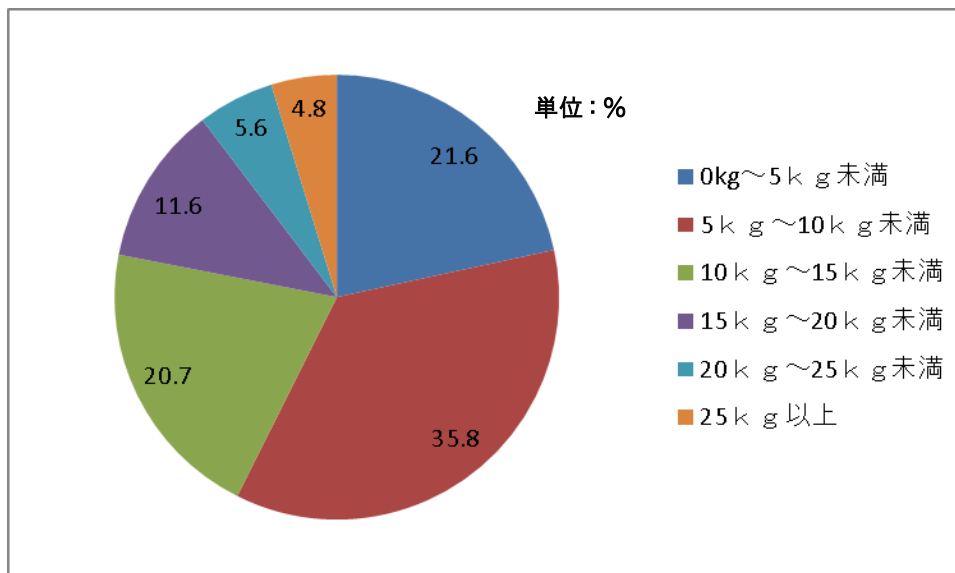
### Q 1（お米を消費する世帯の人数について）

アンケートに回答いただいた世帯の人数としては、「2人世帯」が26.3%、「3人世帯」が27.4%、「4人世帯」が25.7%と、これらの世帯で全体の約80%を占めていました。



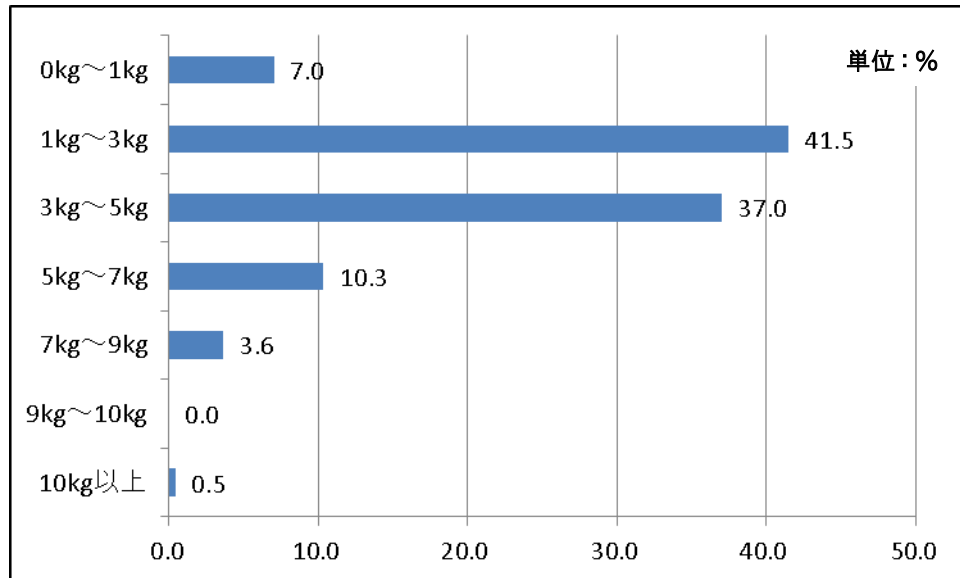
### Q 2（1世帯あたり1か月間のお米の消費量について）

1世帯あたり1か月間のお米の消費量は「0kg～5kg未満」が21.6%、「5kg～10kg未満」が35.8%、「10kg～15kg未満」が20.7%でした。



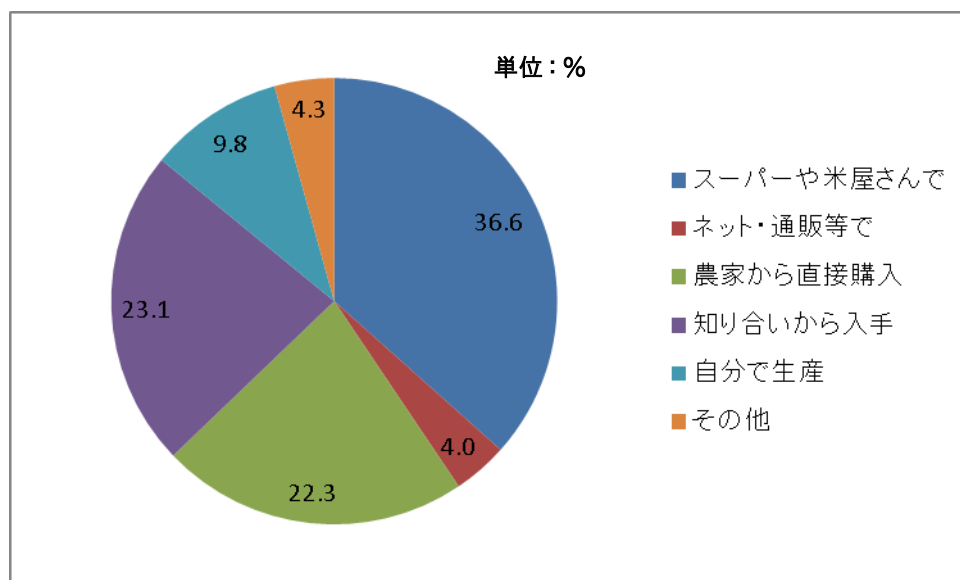
### Q1、2より（1人あたり1か月間のお米の消費量について）

Q1と2の結果から得られる1人あたり1か月間のお米の消費量は、「1kg～3kg」が全体の41.5%と最も多く、次いで「3kg～5kg」が37.0%でした。これらの結果に「1kg未満」の方7.0%を加味すると、1人あたり1か月間のお米の消費量「5kgまで」が全体の約85%を占めていました。



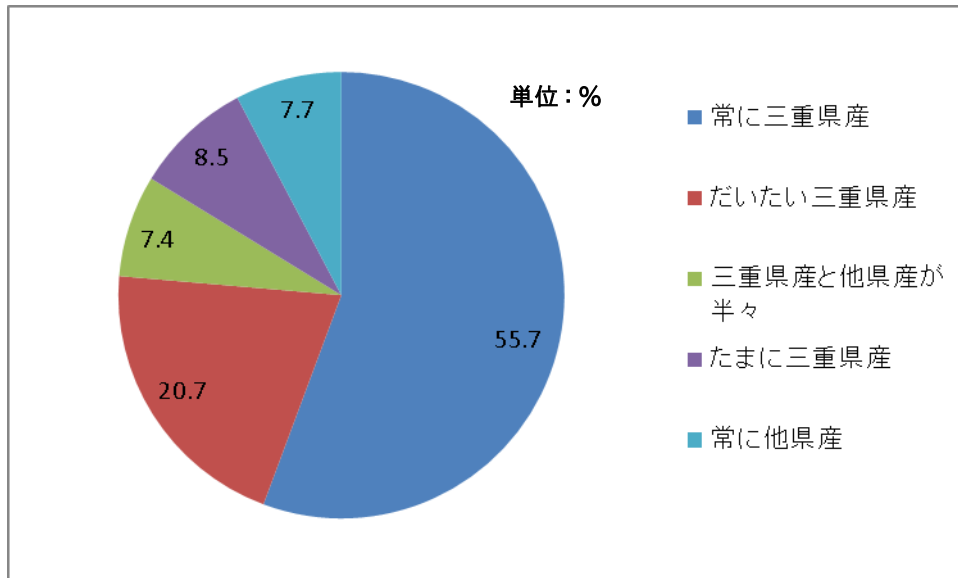
### Q3（お米の入手方法について）

お米の入手方法は、「スーパーや米屋さんで購入する」が36.6%、「親族を含む知り合いから入手する」が23.1%、「農家から直接入手する」方が22.3%などでした。



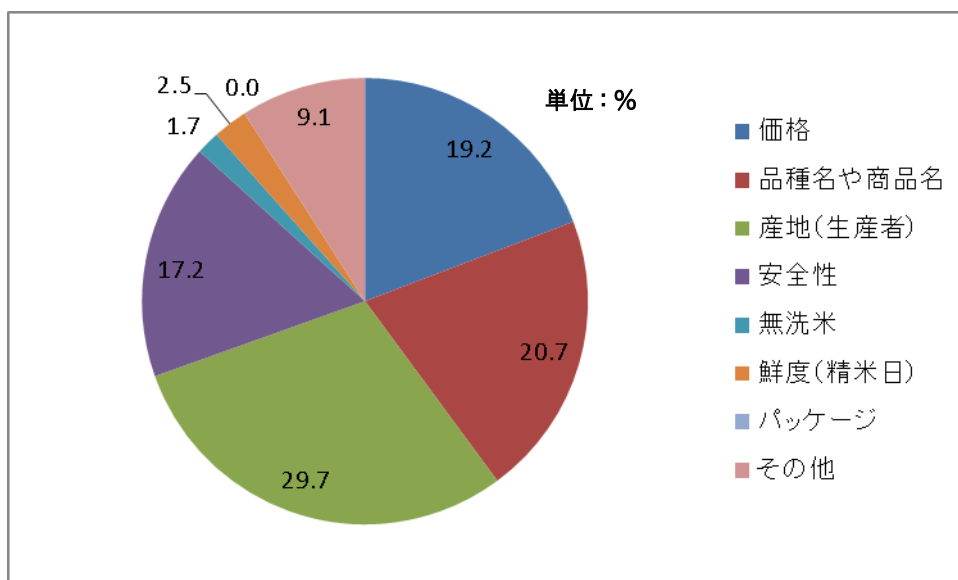
#### Q 4（お米の産地について）

入手されるお米の産地としては、「常に三重県産である」が55.7%、「だいたい三重県産である」が20.7%で、この二つを合わせると、三重県産米を入手されることが多い方が全体の76.4%を占めていました。



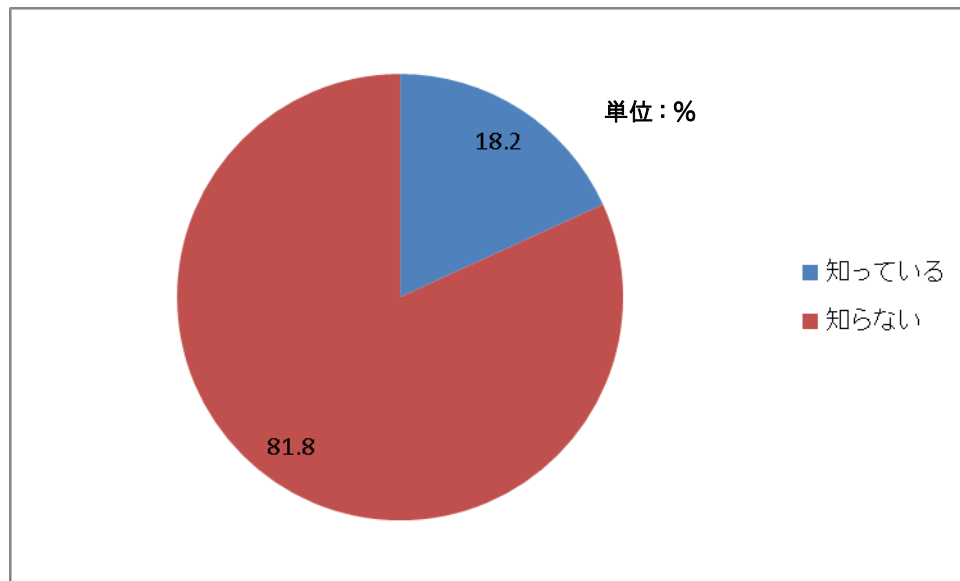
#### Q 5（お米を入手する際のポイントについて）

Q 3で「自分で生産している」と回答した以外の方に、お米を入手される際のポイントをお聞きしたところ、「産地（生産者）」が29.7%、「品種名や商品名」が20.7%、「価格」が19.2%、「安全性」が17.2%などの順となりました。



Q 6 (新ブランド米「結びの神」について)

平成 24 年に三重県で開発された「結びの神」については、「知っている」が 18.2%、「知らない」が 81.8%であり、「結びの神」の認知度は 20%程度であることがわかりました。



Q7（三重県産米に求めるものや期待することなどについて）（自由記載）

回答者880人のうち、535人からご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

【三重県産米に求めるもの】

- 安全で極力農薬を使用していないもの。
- 品質と安全と美味しさです。
- 安全性だけは眼で識別できないので、地元産に期待している。
- 安心・安全が第一。品質が良くて、安価だということありませんが…。
- 農薬の使用量減量など、安全で美味しいお米の生産をお願いします。
- 地元なので鮮度がよいこと。
- 安全性において信頼できるかどうか。
- いろんな種類の個性の強い米を食べてみたい。
- 味、ふっくらさ、価格、炊いた時のにおい、品質。
- 炊き立てがうまいのは当たり前。おにぎりや弁当など冷めてももちりおいしいごはんが食べたい。
- もちもちの食感。

【三重県産米のPRについて】

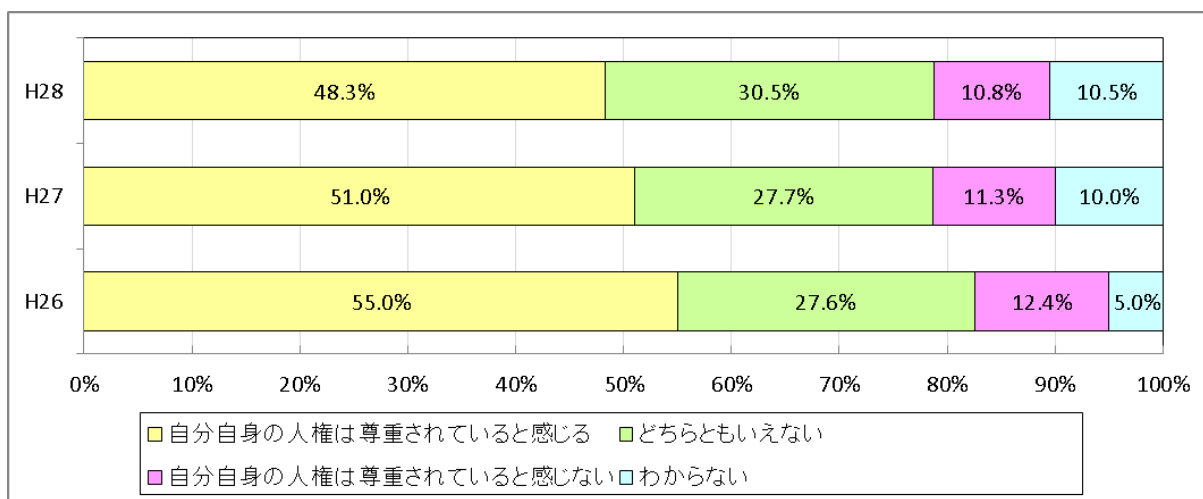
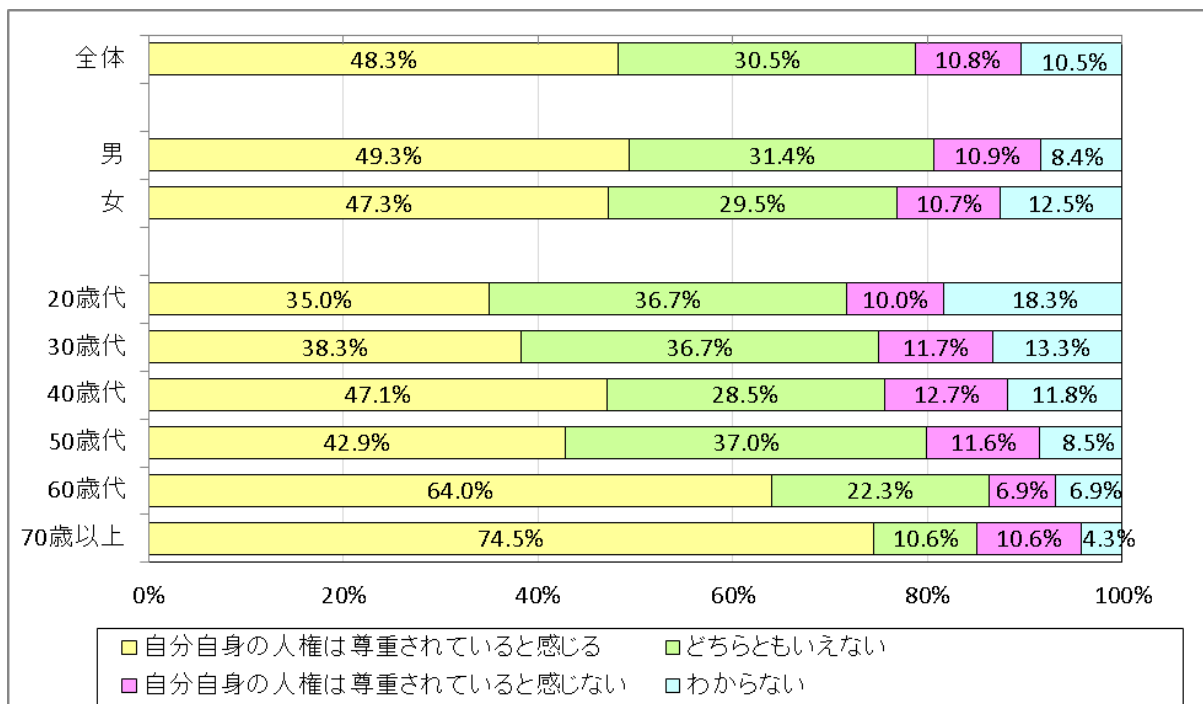
- 地産地消が理想的だと思いますので、地元のお米を地元の人に、もう少し安価で手に入るようになればと思います。
- 地産地消をもっと進める。
- まだまだ三重県産の宣伝が足りない。
- 三重は全国的にも有名な食材が多い県だと思いますので、米についてもPRを頑張っ  
て欲しいと思います。
- 三重県産のブランド米のアピールの機会をイベントなどで持つと良いのではないかと  
思う。
- 伊賀米や御糸米（みいとまい）等々、他県にもっとアピールしても良いのではないかと  
思います。
- もっと大々的に宣伝して全国に広めること。
- 美味しいのにピーアールが足りないかも。
- 三重県産米についての、品種やブランド米についての情報やPRをもっといろいろな  
ところから発信して欲しい。
- やはり地場産は育てていくべきである。

Q8（人権尊重社会（自分自身の人権）について）

自分自身の人権が尊重されていると感じている方は、「感じる」と回答した方 11.6%と「どちらかといえば感じる」と回答した方 36.7%を合わせて 48.3%でした。

一方、尊重されていないと感じている方は、「感じない」と回答した方 4.3%と「どちらかといえば感じない」と回答した方 6.5%を合わせて 10.8%でした。

なお、「どちらともいえない」と回答した方は 30.5%、「わからない」と回答した方は 10.5%でした。

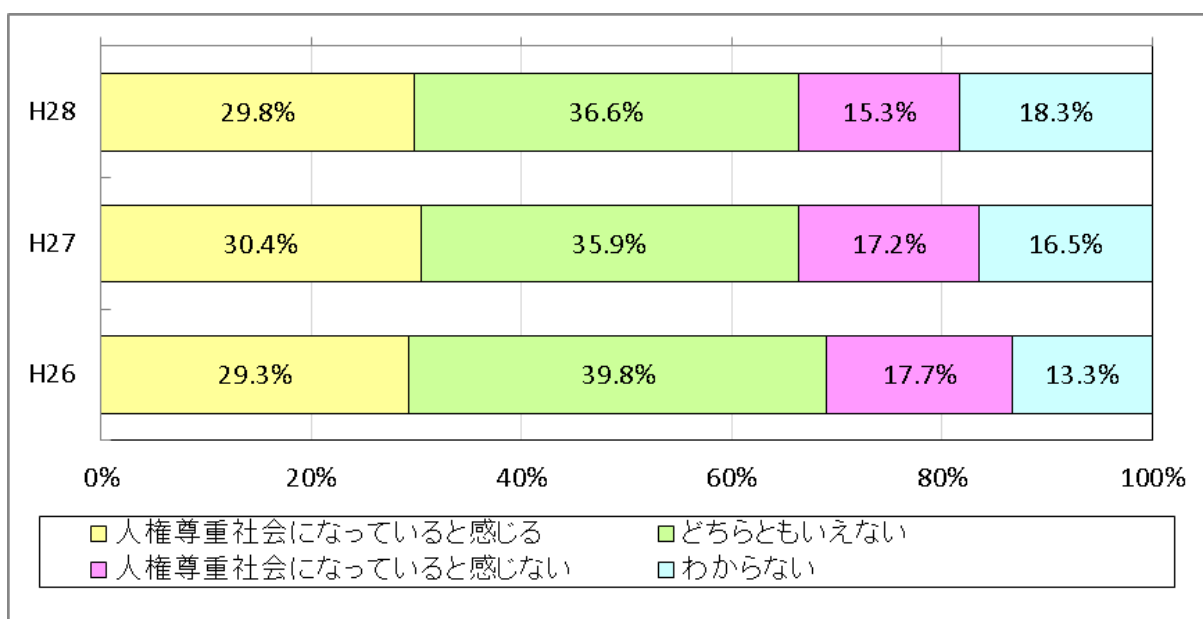
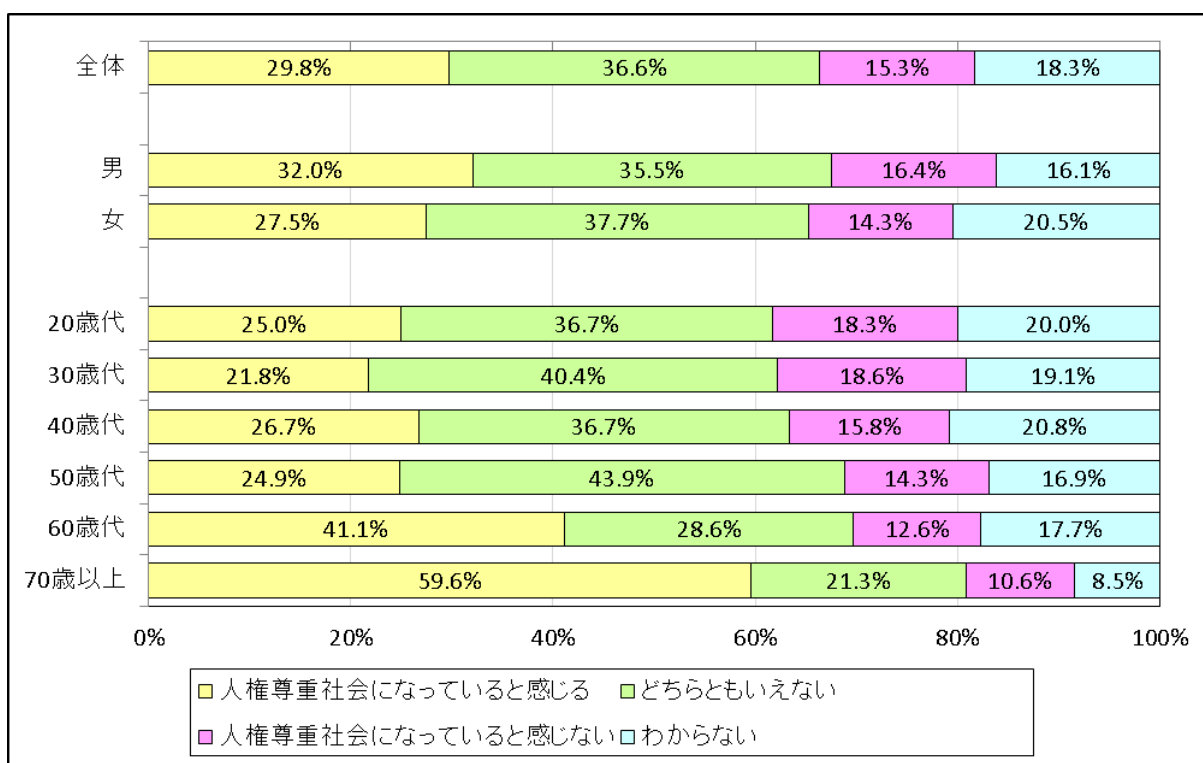


Q9（人権尊重社会（三重県）について）

三重県は人権尊重社会になっていると感じている方は、「感じる」と回答した方 2.8%と「どちらかといえば感じる」と回答した方 27.0%を合わせて 29.8%でした。

一方、人権尊重社会になっていないと感じている方は、「感じない」と回答した方 6.0%と「どちらかといえば感じない」と回答した方 9.3%を合わせると 15.3%でした。

なお、「どちらともいえない」と回答した方は 36.6%、「わからない」と回答した方は 18.3%でした。





#### Q10（人権尊重社会について（理由））

Q9で回答した「人権が尊重されている社会になっている」と「感じる」または「感じない」理由など、ご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

##### 【人権が尊重されている社会になっていると感じる理由】

- 勤め先で人権の講習を受けており、ディスカッションも盛んだから。
- 普段の生活で、人権について感じた事はあまりない。ということは、人権は守られているということだと思うから。
- 障がいのある人の雇用を市民センターなどで見る機会があったから。
- LGBTにかかわる講演会があったり、多文化に関する取組もあるから。
- 県全体で人権啓発に関するポスター等を見かけるから。

##### 【人権が尊重されている社会になっていると感じない理由】

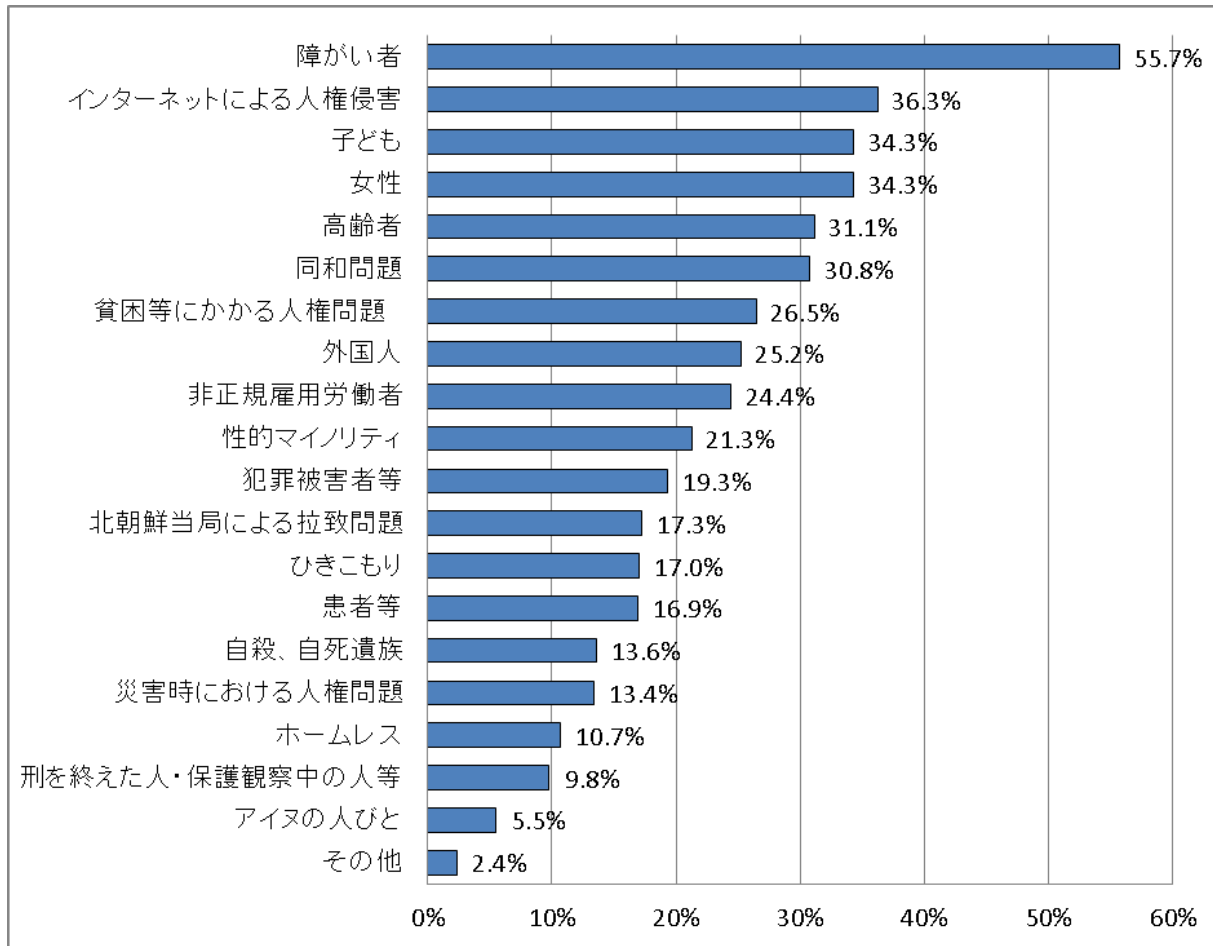
- 依然として男女の格差があるから。
- 昔からの習わしなどが根強い地域もあるから。
- 特に人権が尊重されていると認識がないから。
- あまり新聞や広報などで見かける機会が少ないから。
- 調査等の数字に見えないところで、差別意識があるから。
- まだまだ人権尊重とは言えない実態を感じるが多々あるから。

また、「どちらともいえない」、「わからない」を選択した理由について、ご意見をいただきましたので、その一部をご紹介します。

- 人権について、あまり考える機会がないから。
- 身近に感じないから。
- 差別的なところも見かけるから。
- 難しい問題でわからないから。
- 人権についてあまり深く考えたことがなかったから。
- まだまだ行き渡っていない部分があると思うから。

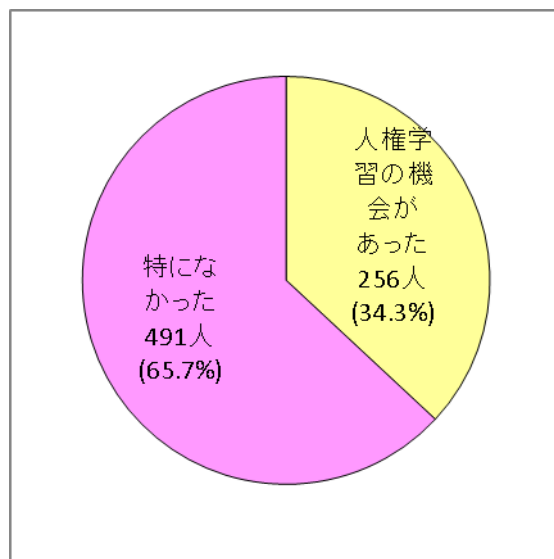
### Q11（人権課題への関心について）（複数回答）

人権課題について、関心のあるものは、「障がい者」を選択した方が55.7%、「インターネットによる人権侵害」を選択した方が36.3%、「子ども」「女性」を選択した方が34.3%などの順となっています。



Q12（人権学習の機会について）（複数回答）

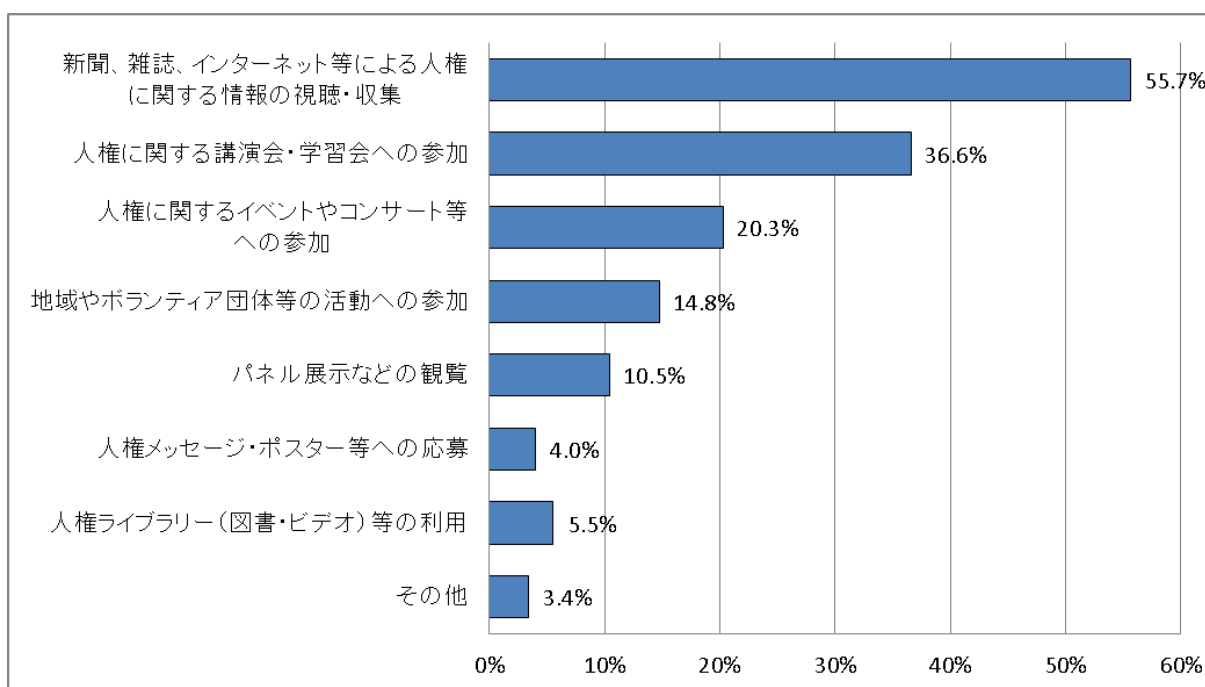
人権学習の機会について、最近1年間で人権に関して学んだり、知識を得たりした機会があった方は34.3%で、特に機会のなかった方は65.7%でした。



また、「人権学習の機会があった」と回答した方に、その機会について聞いたところ、「新聞、雑誌、インターネット等による人権に関する情報の視聴・収集」を選択した方が55.7%、「人権に関する講演会・学習会への参加」を選択した方が36.6%、「人権に関するイベントやコンサートへの参加」を選択した方が20.3%、「地域やボランティア団体等の活動への参加」を選択した方が14.8%などの順となっています。

「その他」の回答では、「職場での人権啓発研修」、「地域ボランティアに参加した親からの話を聞いた」などがありました。

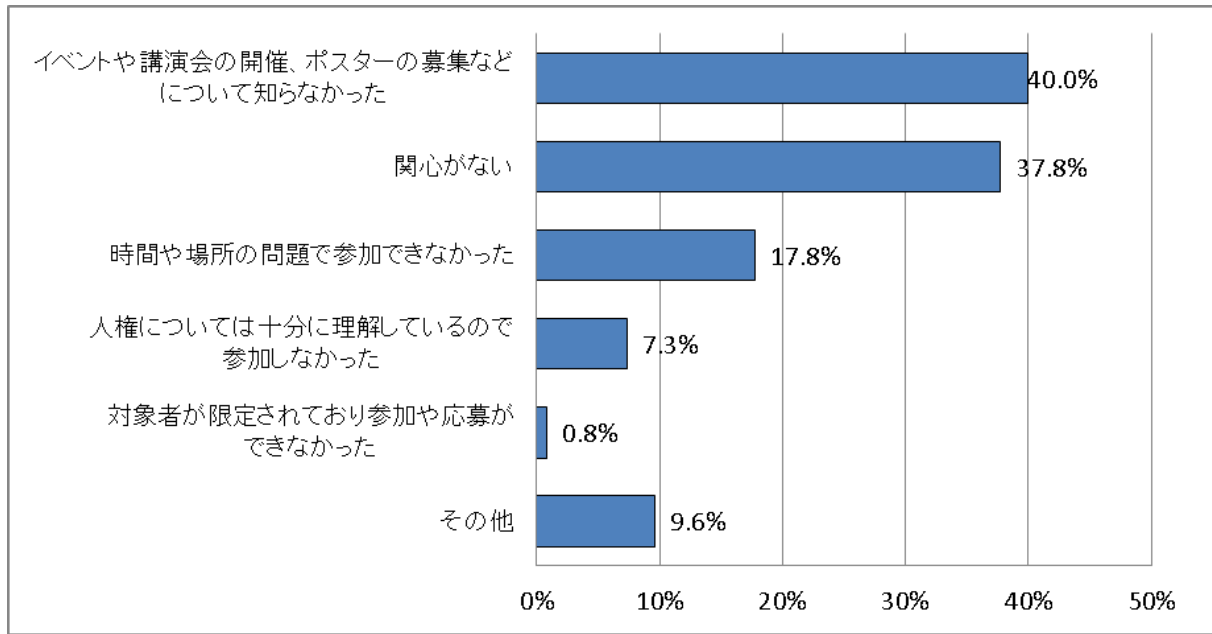
N=325



### Q13 (人権学習の機会について (なかった理由))

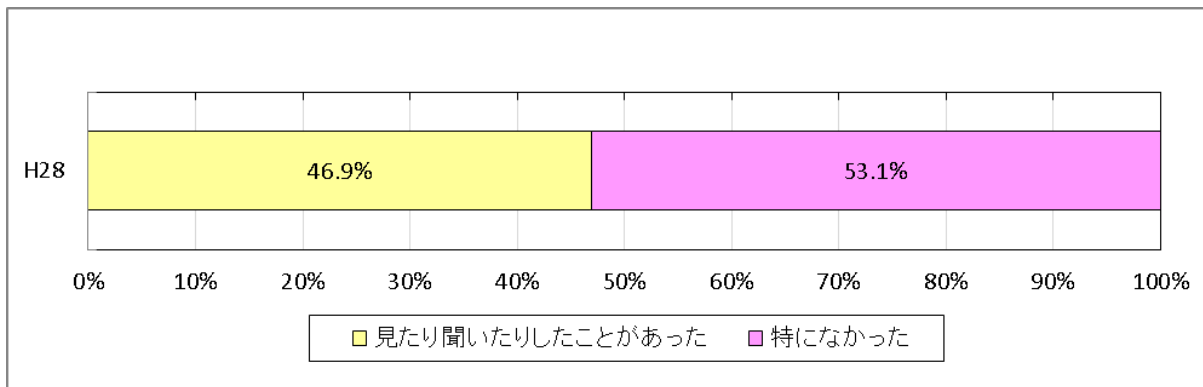
Q12で「人権学習の機会が特になかった」と回答した方にその理由を聞いたところ、「イベントや講演会の開催、ポスターの募集などについて知らなかった」と回答した方が40.0%、「関心がない」と回答した方が37.8%、「時間や場所の問題で参加できなかった」と回答した方が17.8%などの順となりました。

N=490



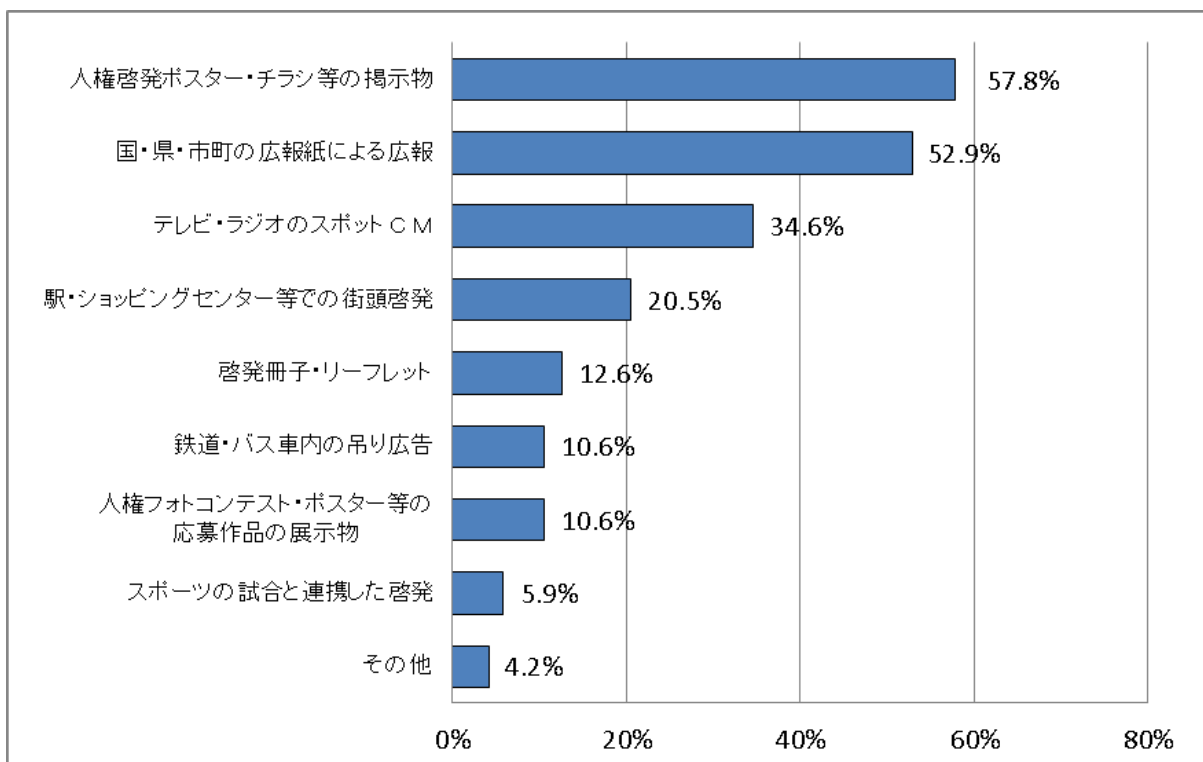
Q14（人権啓発について）（複数回答）

人権啓発について、最近1年間で人権に関する啓発等を見たり聞いたりしたことがあった方は46.9%で、特になかった方は53.1%でした。



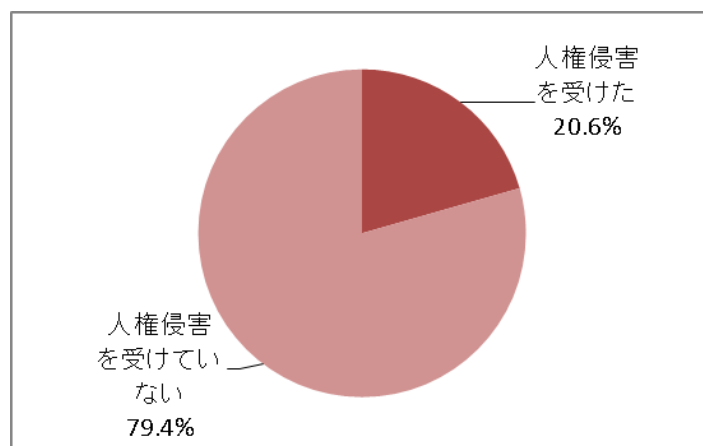
また、見たり聞いたりした取組については、「人権啓発ポスター・チラシ等の掲示物」を選択した方が57.8%、「国・県・市町広報紙による広報」を選択した方が52.9%、「テレビ・ラジオのスポットCM」を選択した方が34.6%などの順となっています。

「その他」の回答では、「社内研修」「学校からの講演会等のお知らせ」「子どもの学校での授業」「インターネット」などがありました。



### Q15（人権侵害について）

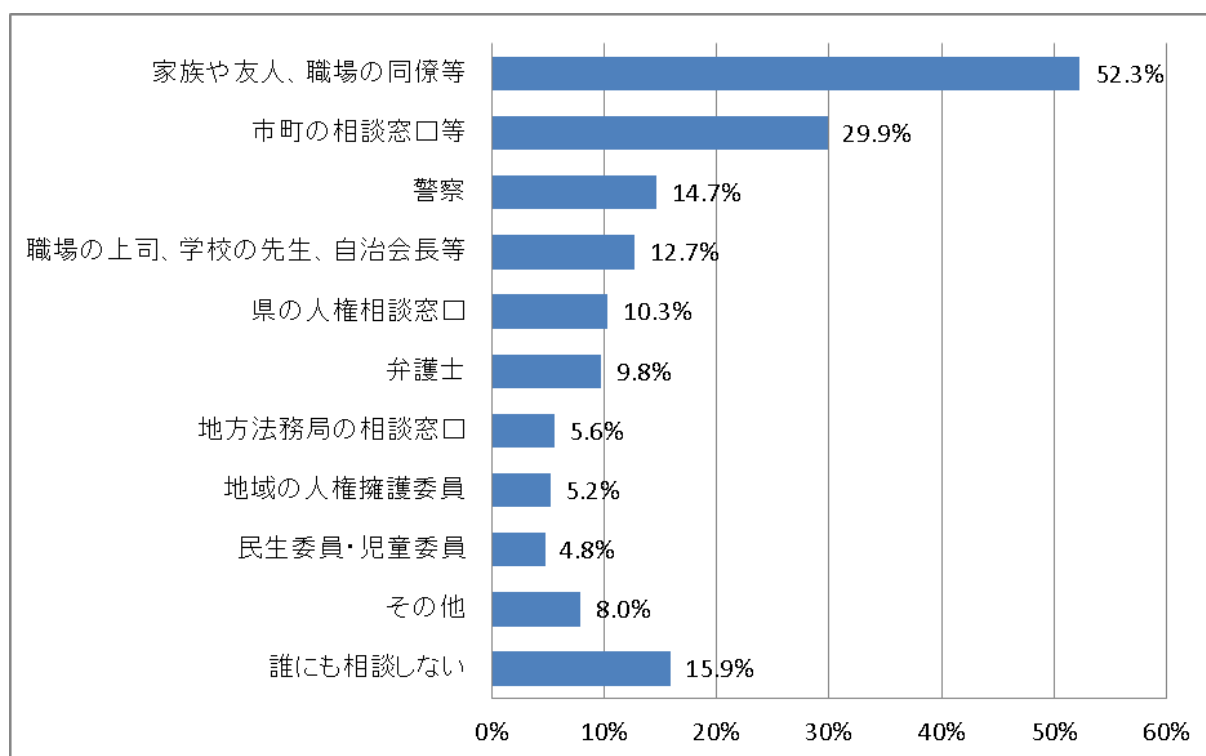
人権侵害について、自分、又は家族や友人・知人が、最近1年間でいじめや虐待、セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、ドメスティックバイオレンス（DV）、差別待遇などを受けた（受けたと感じた）方は20.6%で、なかった方は79.4%でした。



### Q16（人権相談について）（複数回答）

人権侵害を受けた場合の相談する相手・機関については、「家族や友人等」を選択した方が52.3%、「市町の相談窓口等」を選択した方が29.9%、「警察」を選択した方が14.7%、「職場の上司、学校の先生、自治会長等」を選択した方が12.7%、「県の人権相談窓口」を選択した方が10.3%、「弁護士」を選択した方が9.8%などの順となっています。

また、「誰にも相談しない」を選択した方が15.9%でした。



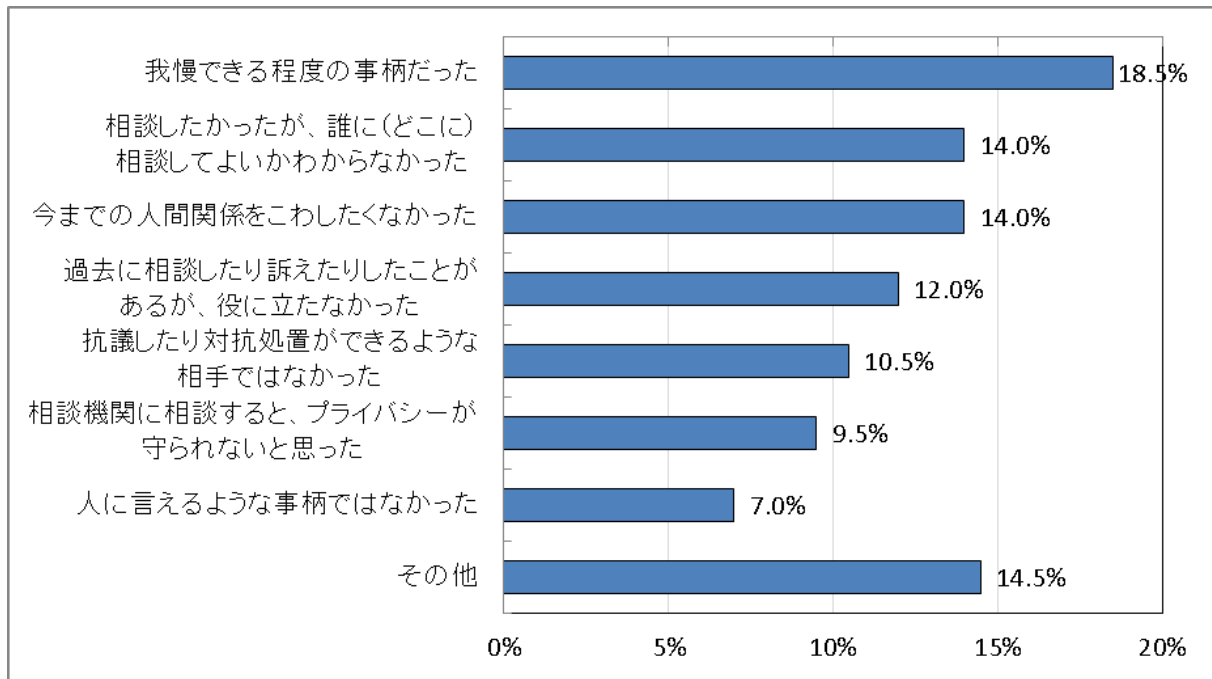
※いじめや差別などの人権侵害を受けて困っている場合、三重県人権センター等公的な機関でご相談を受けています。連絡先等は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/JINKENC/HP/38043032182.htm>

### Q17 (人権相談について(誰にも相談しない理由))

Q16で人権侵害を受けた場合に「誰にも相談しない」と回答した方にその理由を聞いたところ、「我慢できる程度の事柄だった」と回答した方が18.5%、「相談したかったが、誰に(どこに)相談してよいかわからなかった」「今までの人間関係をこわしたくなかった」と回答した方が14.0%などの順となりました。

N=200



### Q18 (人権尊重社会への取組)

人権が尊重される社会の実現のために重要だと思う取組については、「学校や地域で、人権教育を充実していくこと」が 60.9%、「企業、事業所が人権研修を実施したり、社会的責任として人権問題に関する取り組みを支援していくこと」が 40.1%、「人権問題に関する相談体制を充実させていくこと」「人権侵害を受けた人に対する救済策を充実すること」が 31.7%などの順となっています。

